



国際会長 (IP) Joan Wilson (カナダ)

“Our Future Begins Today”

「私たちの未来は、今日より始まる」

アジア地域会長 (AP) Tung Ming Hsiao (台湾)

“Through Love, Serve”

「愛をもって奉仕をしよう」

東日本区理事 (RD) 利根川 恵子 (川越)

「明日に向かって、今日動こう」

“For the Future, Act Today!”

湘南・沖縄部部長 (DG) 若木 一美 (横浜とつか)

「あなたが退会しない理由は?」 ~明るく・楽しく・元気よく~

横浜クラブ会長 (CP) 金子 功

「YMCA とともに!」

“Together, with YMCA!”

会長 金子 功
副会長 舟田 正夫
書記 伊藤 誠彦
会計 古田 和彦
直前会長 松島 美一

監事 松島 美一
ブリテン 高田 一彦
担当主事 青木 一弘

<今月の聖句>

田口 努

「だから、わたしたちは落胆しません。たとえわたしたちの「外なる人」は衰えていくとしても、わたしたちの「内なる人」は日々新たにされていきます。」
コリントの信徒への手紙II 4章16節

今月のひとこと

「2016年度を迎えるにあたって」

会長 金子 功



2015年度が無事終了し、新たな気持ちで2016年度を迎えることができましたことを横浜クラブの皆さまと共に喜び、感謝したいと思います。昨年度のクラブモットーは、「クラブの伝統に誇りを、明日に自信を!」でした。1年を振り返る時、クラブの運営は、伝統の力に助けられ、順調であったと思います。これもクラブ会員一人ひとりのワイズダム意識の高さと会員相互の信頼関係であったと思います。

さて、この7月より2016年の新しい事業年度を迎えます。不肖、私が引き続きクラブ会長をお引き受けすることに成りました。大変名誉なことであり光栄に思い、一生懸命努めたいと思いますので皆さまのお力添えをお願いいたします。会長としての最初の仕事は来たるべき1年間のクラブ・モットーを決めることです。私は、今年度のモットーを「YMCAと共に!」(Together with YMCA!) としましたいろいろ考えましたが、行き着くところはYMCAがあつてのワイズであり、YMCAとの協働であり、YMCAへのサポート

です。そして、私自身が密かに考えていることは、このモットーを私と横浜YMCAとの関係に於ける集大成にしたいと思っていることです。

幸い横浜クラブは、昨年4人の気鋭に富んだ4人の新しいメンバーを迎えることができました。また、今期は、さい先の良いことに、ワイズとしては若手の元横浜YMCA職員をクラブメンバーとして早々に迎えております。

今年度の東日本区の利根川恵子理事(川越クラブ)は「明日に向かって今日動こう」という主題に加えてスローガンとして「手を取り合って、今、行動」(Together, Let's Roll Now!)と唱っています。私はこの「手を取り合って・・・」を「YMCAと手を取り合って・・・」、いまYMCAが一番力を入れているユースの開発である、「ユースと手を取り合って・・・」と解釈しています。

横浜クラブは昨年12月に創立85周年を祝いました。この伝統を守り、次の世代に続けるためにはクラブメンバーの若返りが急務と考えます。今や、この時期が到来したと確信しています。

132年の歴史を誇る横浜YMCAを追いながら、横浜クラブも90年、100年を見据えて横浜YMCAと共に歩みたいと願っています。本年度もよろしくお願い致します。

<2016年6月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F	
20名	メン 15名	79 %	今月分	
(功勞)	メネット 2名	(メーキャップ	切手	0g
会員1	コメント 0名	名を含む)	現金	0円
名を含ま	ビジター 0名		年度累計	
む)	ゲスト 1名	前月修正出席	切手	0g
	合計 18名	率	現金	0円

＜7月の行事予定＞

キックオフ、Yサ、ASF、RBM

日	曜	時間	行事内容	場所
8	金		湘南・沖縄部 役員会	県民センター
14	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央Y
28	木	17:00	横浜クラブ第二例会	中央Y
30	土	15:00	第1回 部評議会	中央Y

「6月例会報告」

古田 和彦

日 時：6月9日（木）18:30～20:30

場 所：中央YMCA 501号室

出席者：青木、天野、伊藤メン・メネ、今村、大江、大高、金子、神村メン・メネ、古賀、齋藤、高田、成瀬、舟田、古田、松島

ゲスト：野村郁雄氏（7月入会者）

伊藤ワイズの司会により、金子会長の開会点鐘で定刻に開始。恒例により、全員でワイズソング、ワイズの信条の唱和、続いて、高田ワイズが今月の聖句を朗読。ゲスト・ビジターはなく（野村氏は遅れて参加）、高田ワイズの食前感謝と食事。

今月の卓話は、大高ワイズによる、「Finland、知られざる親日国から世界へ」。まず、なぜ親日なのか、日露戦争によりロシアの国力が落ちたせいでフィンランドは独立できたこと、また、その後のスウェーデンとの領土問題を当時の国連事務次長新渡戸稲造の裁定により解決したこと、地理的に遠い国だが9時間で行ける欧州一近い国で、観光客の往来、自治体間の友好都市締結など相互交流が増加していること、さらに、1952年のヘルシンキオリンピックには戦後初めて日本が参加できたこと、ムーミン・サウナ・オーロラ・サンタクロースと日本人になじみの言葉を挙げ、「相互に良いところ探し人が国も仲良くなる早道」と結論付けた。大高ワイズは会社の業務で1992年から頻りにフィンランドを訪れるようになり、知己も増え、フィンランドの歴史・文化に触れられた。歴史的にはスウェーデン・ロシアの統治時代が長く、1917年の独立後も苦難が続き、1994年ECに加盟、ユーロも導入し、電子工業中心に技術産業国として発展している。人口は518万人、森と湖の国、税金は高いが大学無料化など福祉は手厚い国である。言葉が子音母音で綴られることから日本語と発音が似ており、同音異義語が多くみられる。

Totta kai(とったかい)は「勿論」、Sentakkia(洗濯機屋)は「なぜなら」



卓話中の大高ワイズ

「Finland、知られざる親日国から世界へ」。まず、なぜ親日なのか、日露戦争によりロシアの国力が落ちたせいでフィンランドは独立できたこと、また、その後のスウェーデンとの領土問題を当時の国連事務次長新渡戸稲造の裁定により解決したこと、地理的に遠い国だが9時間で行ける欧州一近い国で、観光客の往来、自治体間の友好都市締結など相互交流が増加していること、さらに、1952年のヘルシンキオリンピックには戦後初めて日本が参加できたこと、ムーミン・サウナ・オーロラ・サンタクロースと日本人になじみの言葉を挙げ、「相互に良いところ探し人が国も仲良くなる早道」と結論付けた。大高ワイズは会社の業務で1992年から頻りにフィンランドを訪れるようになり、知己も増え、フィンランドの歴史・文化に触れられた。歴史的にはスウェーデン・ロシアの統治時代が長く、1917年の独立後も苦難が続き、1994年ECに加盟、ユーロも導入し、電子工業中心に技術産業国として発展している。人口は518万人、森と湖の国、税金は高いが大学無料化など福祉は手厚い国である。言葉が子音母音で綴られることから日本語と発音が似ており、同音異義語が多くみられる。



退会される天野、成瀬ワイズを囲んで

など。また、面白い人名も多い。1990年代の首相はMr.Aho, Minna Ahonen さんもいる。とんでもない悪い意味なので「おやすみなさい」とはフィンランド人に言わない方がよいなど。

大高ワイズは、多くの資料とユーモアを交えてフィンランドを語られた。その中に世界中を巡ったビジネスマンとしての世界観が随所に垣間見られ、大いに触発させられた。

続いてビジネス。諸報告ののち、今期で退会される天野ワイズ、成瀬ワイズから挨拶があった。お二人の健康を心から祈る次第である。また、今村ワイズから信仰生活50年記念においしい美喜もなかをいただいた。感謝。

成瀬ワイズ、松島ワイズ、齋藤ワイズ（5月）のハッピーバースデーを祝い、ほぼ定刻に閉会した。

ロバ献金16,500円。（熊本Y支援に募金）

「第19回東日本区大会」

高田 一彦

2016年6月4日～5日 第19回東日本区大会が長野市若里市民ホールにて約400名余が参加して開催された。

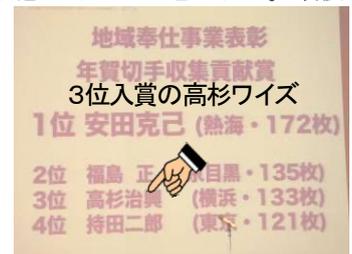
12時半の長野少年少女合唱団の歓迎の歌に、湯田・江守両ワイズの司会のもと、各クラブ会長のバナーセレモニーが行われ、渡辺隆理事の点鐘、ワイズソング、ワイズの信条、大会ホストクラブの歓迎の挨拶に続いて、来賓挨拶が行われた。樋口長野副市長、島田YMCA同盟総主事に続いてのエドワード・オンアジア地域会長の祝辞では、12名の小人数のメンバーでこの大きな大会を開催されたことは大きな驚きである事が述べられた。

メモリアルアワーが持たれた後、東日本区アワー（1）となり、渡辺理事の挨拶・年次報告では、「原点に立って、未来へステップ」を主題として、部の強化を図りながら歩んだ一年間の成果として、期初902名のメンバーから5月末で950名に増え、石巻広域クラブのチャーター等が大いに評価されるべきであると述べられた。各部長の報告では、各部の一年間の活動が一冊の冊子に掲載され、事前に配られていたのが何時にないはいりよう配慮であったと思われる。最後に、熊本地震報告として、岩本西日本区理事が熊本YMCAやワイズメンの被害状況と、その中における地元被災者への救援活動、今後の継続的支援の依頼などが求められた。

休憩の後のプログラム長野プレゼンツ「ワイズにひかれ 善光寺」では、長野クラブの福島貴和ワイズ（善光寺玄証院住職）の案内で、10人の僧侶がハスの花を蒔きながら入場する朝事（あさじ）の状況や、めでたいお経の天台声明（てんだいしょうみょう）の披露、また絵解き口演として善光寺参りの屏風絵の中に込められた逸話の紹介などがあった。

60人余の20代から70代のメンバーで編成された吹奏楽団「年金バンド」による演奏と、「夕焼小焼」を作曲した草川信の童謡メドレーを皆で歌って楽しんだ。

晩餐会は、メルパルクホテルへ場所を移し、善光寺木遣り保存会のお祝いの木遣りの導入、食前感謝も仏式で福島ワイズの主導のもと全員で唱和し、利根川次期理事の乾杯で始ま



り、ご馳走を堪能した。

2日目は、善光寺への早朝散歩、聖日礼拝に続いて、東日本区アワー(2)では事業主任の報告と各事業の表彰が行われた(年賀切手収集では高杉ワイズが3位に入賞)。青木元国際会長司式による理事引き継ぎ式は、渡辺隆理事より、利根川恵子理事へとバトンが渡された。利根川新理事は、「明日に向かって、今日動こう」の主題のもと、「手を取り合って、今、行動を!」のスローガンを掲げて以下の重点目標を発表された。



大会参加の横浜メンバー

閉会式では、献金が東日本大震災、熊本大地震に献げられ、島田YMCA同盟総主事より渡辺理事への感謝状授与、大会旗の引き継ぎの後、大会委員長の挨拶があり、無事大会の幕を閉じた。横浜クラブからの出席者は、伊藤、金子、齋藤、高田、田口、松島の7名であった。

「第73回Y-Y's 協議会報告」

金子 功

第73回Y-Y's 協議会は6月7日(火)午後7:00より横浜中央YMCA501号室で開かれた。今回は鎌倉クラブが担当。本年4月から鎌倉クラブの担当主事になった三上担当主事の聖書朗読、祈祷に引き続き、田口総主事と今城湘南・沖縄部部長が開会の挨拶をした。田口総主事は5月28日に無事会員総会が終了したこと、又熊本地震に対するYMCAの支援活動が現地で高く評価されていることを述べた。因みに、避難場所の益城町総合体育館は熊本YMCAが指定管理者として運営している。現地のワイズメンズクラブが体育館の天井の補修等に多大の尽力をしたと感謝の意を述べた。今城部長は長野で開催された東日本区大会が無事終了し、部長としての責務も無事終了する運びになったことに謝意を述べた。

YMCA報告事項は:①横浜YMCA会員総会、②熊本地震支援活動報告、③BAPY募金キャンペーン、④光州YMCA短期研修生受け入れ、⑤AIDS文化フォーラム;ワイズ側報告事項としては:①第19回東日本区大会、②第4回湘南・沖縄部役員会報告、③各クラブ報告であったが、意見交換のテーマとして、金子ワイズの提案で「日本YMCA同盟が発信する災害時の寄付金、支援金の送金方法、集計方法」について意見が交わされた。横浜クラブ出席者:田口、金子。

<第3回部評議会報告>

伊藤 誠彦

日時:6月18日(土)15:00~17:30
場所:横浜中央YMCA608号室

定足数を確認後(出席者18名、委任状13通)林部書記の司会、今城部長の議長のもと議事に入った。

第1号議案(16-17年度の部役員選出・承認):横浜ク

ラブからは金子次期部長、大高地域奉仕事業主査第2号議案(16-17年度部長主題、事業計画の承認):若木次期部長主題は「あなたが退会しない理由は?」第3号議案(部長事業報告):今城部長より15-16年度事業結果報告があった。

第4号議案(会計報告:暫定決算報告):岡田部会計より決算見込報告(73,523円の黒字)があった。

その他、報告事項として各事業主査による事業報告、各クラブからの活動状況報告があった。

続いて、特別プログラムとして伊藤幾夫東日本区LT委員長による「『部の強化・活性化』をワイズ飛躍の好機としよう!」と題する初の出前講座が開催された。

最後に、加藤監事講評。横浜出席:伊藤、金子、古田

「再入会にあたって」

野村 郁雄



2015年1月末に私は横浜YMCAを退職した。退職1年前には弟が他界し、その後父の介護、父亡き後は母の介護などあり心身ともに疲れていた。YMCAでの勤務は30年超。語弊はあるが、「生きるための30年」だったように思う。本当に自分のやりたいことは後回しにして、組織の人間として休まずにペダルを踏んで、真っ直ぐに突っ走った感がある。目標を達成するために挑戦と失敗を繰り返しながら前向きに歩んできた。その期間は、紛れもなく「生きるための30年」だったと思う。

定年後、縁あって今の仕事に就いた。時間的に余裕があり、趣味や家族と過ごす時間も増えたが、何か物足りないと感じていた。自分がイメージしていた未来は、このようなものだったのかと考えていた頃、横浜クラブ85周年の式典に招待を受けた。そこでワイズの皆さんと再会し話してみると、主體的に物事に係り充実した表情の顔があった。私はその時、これからの人生について改めて考えてみようと思った。過去に職員として関わった横浜クラブに会員として入会してみようと考えた。

これからの数年間を「生きるための30年」から「生きた証しとしての20年」への橋渡し期間としよう。この橋渡しの期間に、何かを見つきたい。まずは、自分がやってみようと思っても出来なかったことをしようと思う。今の助走期間があつてこそその人生だと後で話せるようにしたい。将来に向けての助走を今、スタートさせる。

第二例会報告

高田 一彦

日時:6月23日(木)17:00~19:40

場所:横浜中央YMCA501号室

出席者:青木、伊藤、金子、齋藤、高田、古田

協議・確認事項

1. 7月~10月の行事予定確認
2. 7月キックオフプログラムの確認
・部長公式訪問
・入会式(野村郁雄氏)
3. 総会資料の最終確認
4. 8月例会・納涼会の確認

★ 強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う ★

5. クラブ会則改訂承認に向けての手順
6. ワイズキャビネットの購入及び配置場所について
7. 今後の例会卓話 9月：古賀ワイズ
8. ブリテン編集計画



担当主事 青木 一弘

○熊本地震支援ボランティア活動報告 (6月10日-12日)

4月14日、16日に発生した熊本地震から2ヶ月が経過しました。熊本では、まだまだ避難所での生活や車中泊など、不安の中で生活している方々が多くいらっしゃいます。そのような中、4月末に開所された阿蘇YMCAの阿蘇市災害ボランティアセンターの活動支援のために横浜YMCAカレッジグループの学生11名(うちタイ、ベトナム、台湾、中国、イタリアからの留学生が7名)と現地を訪れました。センターでは、近隣地域を中心に倒壊した家屋の片付けや、室内清掃などのニーズに対応したり、地元の子供達のための支援イベントを企画し、ゲームコーナーやバーベキューなどを学生たちが担当しました。



参加した学生は、「家屋の片付けに関わる中で、慣れ親しんだ家を失った人たちの深い悲しみに触れ、見えない心の痛みに寄り添う難しさを感じた。」「みんなの笑顔を見ることができ、

自分自身も元気をもらい、心が満たされました。これからも熊本の復興を心から祈っています。」と語っていました。YMCAでは今後も、現地のニーズに合わせて支援活動を続けていく予定です。災害下にあっても将来の希望が変わらず輝くよう、ひとりひとりが大切にされるように祈り願い、世界の国々の学生も連帯しています。YMCAの連帯によって、一日も早い安全の確保と復旧のために、力を合わせて行きたいと思います。

○第23回 AIDS文化フォーラム in 横浜 開催

AIDS文化フォーラム in 横浜は、HIV・エイズに関わるNGO、NPOと市民ボランティアによるフォーラムです。毎年8月に3日間開催されます。このフォーラムは、今年も、教育、医療、看護、女性、薬害、PLWHA、人権、社会問題、セクシュアリティ、国際 etc. 多くの社会的課題を考える場となります。

日時 8月5日(金)～8月7日(日)
場所 かながわ県民センター
その他 参加自由・入場無料

○熊本YMCA復興支援募金のお願い

熊本YMCAでは、本館、阿蘇キャンプ場、保育園などが被災し、設備の復旧に取り組むとともに、指定管理者として運営をしている益城町総合運動公園と御船町スポーツセンターでは避難所として多くの避難者支援を今も行っていきます。さらに177名のスタッフの半数が全壊・半壊・一部損壊など

自ら被災しながらも懸命に被災者支援と日常活動の再建を進めています。横浜YMCAでは、熊本YMCAのスタッフが地域に根ざし被災地域の人びとに寄り添う支援活動を続けられますように、また私たちが被災スタッフを励ますことで、熊本YMCAの仲間の希望の光となれるよう、私たちの光を輝かしたいと願っています。熊本YMCAの仲間が一日も早く通常の運営に戻れますよう、祈りと共に募金によるご支援をお願い致します。

※期間 2017年4月30日(日)まで

横浜クラブ15-16年度総会及び
16-17年度キックオフ例会プログラム

日時：7月14日(木) 18:30～20:30
場所：横浜中央YMCA 501号室
司会：伊藤ワイズ

1. 開会点鐘および挨拶 金子会長
2. ワイズソング・ワイズの信条 全員
3. 今月の聖句 高田ワイズ
4. ゲスト・ビジター紹介 金子会長
5. 部長公式訪問挨拶 若木部長
6. 食前感謝 高田ワイズ
6. 入会式 野村郁雄 氏
6. 食事
7. 総会
 - 第1号議案 15-16年度事業報告
 - 第2号議案 15-16年度各事業委員会報告
 - 第3号議案 15-16年度会計報告
 - 第4号議案 16-17年度クラブ役員、事業委員の確認
 - 第5号議案 16-17年度活動方針と事業計画
 - 第6号議案 16-17年度予算案
 - 第7号議案 クラブ会則の改訂について
8. キックオフ例会
 - ビジネス・報告 金子会長、他
9. *Happy Birthday* : 今村朋子 (25)
10. 閉会点鐘 金子 会長

例会報告：松島ワイズ

8月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
4-7	木		第72回国際大会	台北
5-7	金		AIDS文化フォーラム	県民センタ
24	水	17:00	横浜クラブ第二例会	驛の食卓
24	水	18:00	第一例会 兼 納涼会	驛の食卓

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは横浜YMCA青木一弘にご連絡下さい。
メール aoki_kazuhiro@yokohamaymca.org
電話 045-641-5785